


資料No. 1

やまなし食の安全・安心行動計画の
平成16年度実施状況について（要約版）

やまなし食の安全・安心行動計画の 平成16年度実施状況について

1. やまなし食の安全・安心行動計画に掲げた87の取り組み(事業)のうち、85の取り組み(事業)について取り組みがされた。(詳細:別添1)
2. 行動計画の主な目標として掲げた67の項目についての平成16年度末における達成等の状況は次のとおりであった。(詳細:別添2)

		達成率	進捗率
		(対H18目標値)	(H15実績値を基準)
100%以上		17項目	8項目
67%以上100%未満		26項目	2項目
33%以上67%未満		11項目	11項目
1%以上33%未満		4項目	5項目
0%		0項目	3項目
0未満			6項目
値の算出ができないもの	概ね達成	8項目	
	未達成	1項目	
	後退		3項目
	その他		29項目
計		67項目	67項目

注：
 は、
 達成率、進捗率が
 33%未満等であった
 もの。

67項目のうち、達成率、進捗率が33%以上等のものは47項目(70%)、33%未満等のものは20項目(30%)であった。

3つの推進方向とこれらを推進するための体制整備別の状況は次のとおり。

- (1) 生産から消費に至る食品の安全性の確保
 35項目の目標のうち、達成率、進捗率が33%以上等のものは25項目(71%)、33%未満等であるものは9項目(26%)であった。(別表1)
- (2) 食品に関する正確な情報の提供
 14項目の目標のうち、達成率、進捗率が33%以上等のものは10項目(71%)、33%未満等であるものは4項目(29%)であった。(別表2)
- (3) 消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立
 14項目の目標のうち、達成率、進捗率が33%以上等のものは8項目(57%)、33%未満等であるものは6項目(43%)であった。(別表3)
- (4) 総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備
 5項目の目標のうち、達成率、進捗率が33%以上等のものは4項目(80%)、33%未満等であるものは1項目(20%)であった。(別表4)

3. 今後も、目標達成に向け、積極的な取り組み(事業)実施を行っていく

別表 1

行動計画の主な目標達成等の状況

(1) 生産から消費に至る食品の安全性の確保

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H5) A	平成18年度末目標 B	平成16年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の取り組み方針
農産物(林産物を含む)の安全性の確保	農薬取締法の遵守	農薬販売業者及び使用者への立入検査、巡回指導数	立入 100件/年	立入 100件/年 巡回 50件/年	立入 99件/年 巡回 10件/年	立入 99% 巡回 20%	立入 - 巡回 -	継続して推進していく。 巡回指導については、関係機関と連携し強化していく。
畜産物の安全性の確保	家畜伝染病予防法の遵守	家畜伝染病の発生回数	4 ~ 5 回/年	0 回/年	6 回	未達成	33%	衛生管理の徹底等、家畜保健衛生所による指導を引き続き実施していく。
減農薬、減化学肥料の取り組みの推進	環境保全型農業の産地化支援	削減栽培取り組み産地数	-	7	2	29%	-	関係機関と連携し強化していく。
食肉処理段階における安全性の確保	食鳥検査の実施	食鳥処理場で処理された鶏と体の微生物検査を実施した羽数	83羽	120羽	84羽	70%	3%	衛生管理の推進のため微生物検査による確認・指導を積極的に実施していく。
流通・販売段階における安全性の確保	H A C C Pシステムの考え方を取り入れた自主管理体制の普及	営業者、従事者への講習会の実施回数	174回/年	200回/年	147回/年	74%	104%	事業所毎に講習会を開催するなど、さらに積極的に取り組んでいく。
		営業者、従事者の受講者数	9,412人/年	11,000人/年	9,020人/年	82%	25%	事業所毎に講習会を開催するなど、さらに積極的に取り組んでいく。
食品衛生確保のための調査研究	検査機関の業務管理(G L P)の徹底	G L P外部及び内部点検の実施回数	外部点検1回/年 内部点検1回/年	外部点検1回/年 内部点検2回/年以上	外部点検 1 回/年 内部点検 1 回/年	100% 50%	- 0%	引き続き実施していく。 平成18年度には内部点検年 2 回実施予定。
魚苗供給・試験指導の充実	健全な種苗の生産	健全な種苗の需給率	92%	100%	供給量4.7トン /需要量7.7トン (61%)	61%	387%	養殖施設の整備及び養殖技術研修を実施しており、健全な種苗の増産を推進していく。
牛肉トレーサビリティ・システム確立のための調査研究の推進	モデル小売店による生産履歴情報の掲示	パネ 掲示店舗数	31店舗	40店舗	31店舗	78%	0%	モデル小売店への取り組みについて、流通と連携し、さらに推進していく。

別表 2

行動計画の主な目標達成等の状況

(2) 食品に関する正確な情報の提供

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H5) A	平成18年度末目標 B	平成16年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の取り組み方針
適正な食品表示の徹底	食品表示合同調査の実施	調査店舗数	150店舗 / 年	600店舗 / 年	178店舗 / 年	30%	6%	効率的な調査を進めるなど、さら らに取り組みを推進していく。
食品の安全性に関する相談 の受付、苦情の対応	ホームページやイベント による相談等の対応	相談対応件数	-	20件 / 年	4件 / 年	20%	-	イベントでの相談窓口設置を積 極的に進めるなど、さらに取り 組みを推進していく。
食の安全・安心について普 及・啓発	研修会の開催や勉強会等 への講師派遣	研修会等開催回数	10回 / 年	30回 / 年	11回 / 年	37%	5%	事業の周知を積極的に行う中 で、さらに取り組みを推進して いく。
	商品テスト教室、出前講 座等の開催	受講者数	1,500人 / 年	1,600人 / 年	・商品テスト教室：3 回、29人 ・出前講座：26回、 1,146人 計 1,175人	73%	325%	関係機関との連携や事業の周知 を行う中で取り組みを推進して いく。

行動計画の主な目標達成等の状況

別表 3

(3) 消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H5) A	平成18年度末目標 B	平成16年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の取り組み方針
消費者、生産者、事業者との交流促進	消費者を対象とした生産から流通現場の視察や意見交換会の開催	見学会、交流会、意見交換会の開催回数	6回/年	6回/年	5回/年	83%	後退	継続して推進していく。H7は6回開催予定。
地産地消の推進		県内市場における県産農産物占有率	21%	22%	19%	86%	200%	市場を経由した学校給食用食材等の利用を推進していく。
	きのこ・山菜料理教室の開催	講習会開催回数	6回	6回	2回	33%	後退	交流拠点での試食イベントなど、幅広い参加が可能な形態とし、参加者の増加等効率的な事業展開を行う。
	学校給食等における地域の農畜水産物の活用	学校給食用合理化機器の整備学校数累計割合	8.70%	18.40%	10.00%	54%	13%	今後も積極的に機器整備への支援を行う。目標は達成できる見込み。
		米飯学校給食実施回数	2.9回/週	3.0回/週	2.9回/週	97%	0%	国や農業団体が行う米消費拡大対策と連動し、学校給食会や市町村と連携を密にし、米飯学校給食の推進を図る。
食育の推進	学校給食関係者に対する食に関する研修会等の実施	研修会等への参加人数	3,200人	3,400人	3,245人	95%	23%	開催日をなるべく参加しやすい時期に設定し、積極的な参加を呼びかけていく。

別表 4

(4) 総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H5) A	平成18年度末目標 B	平成16年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の取り組み方針
施策推進のための情報・意見交換の充実	山梨県食品安全会議の設置、運営	山梨県食品安全会議の開催回数	3回/年	3回/年	2回/年	67%	後退	継続して推進していく。H7は3回開催予定。